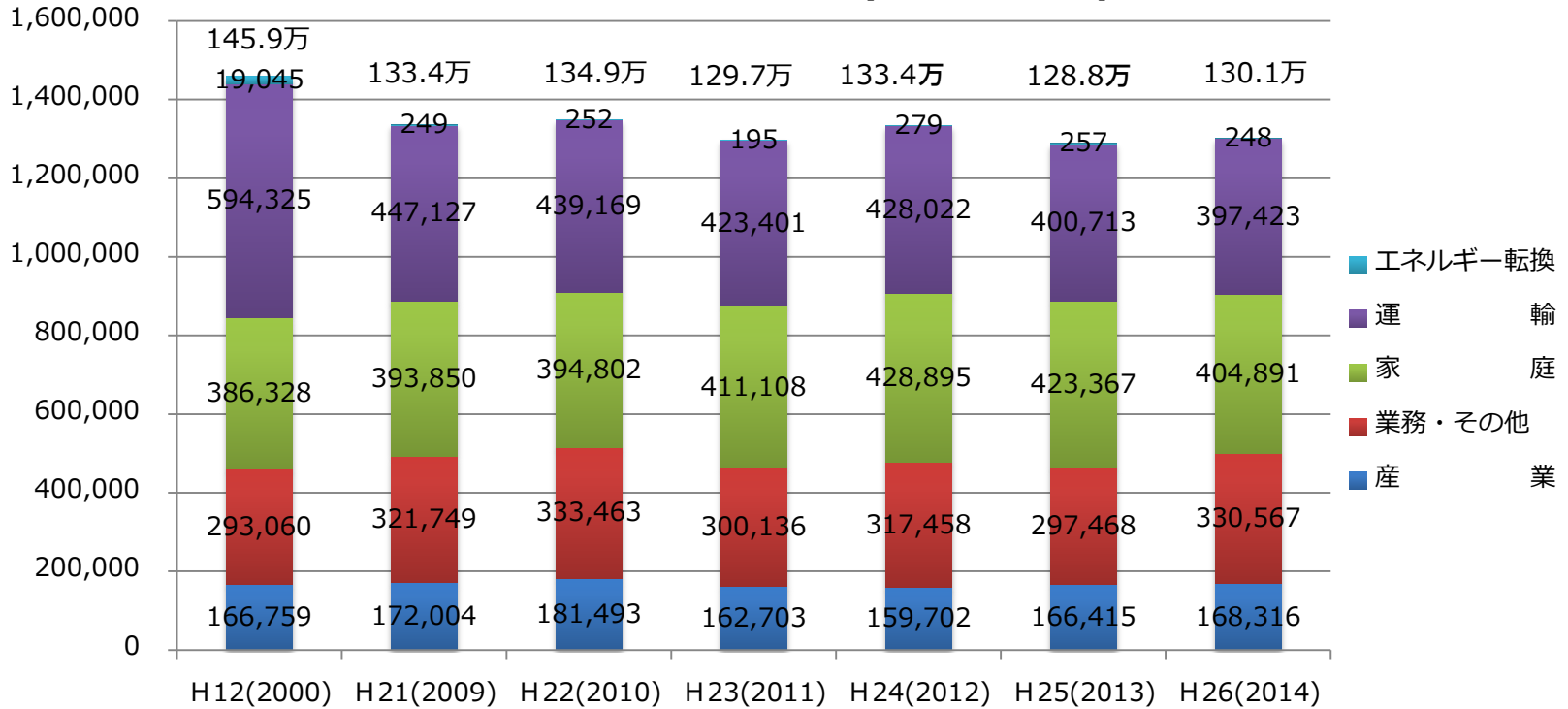


平成28年度 環境モデル都市事業の概要

帯広市 環境都市推進課



CO2排出量の推移(単位：t-CO2)



○帯広市内のCO2排出量

- 2014年（H26）の帯広市内の排出量は、基準年2000年（H12）比10.8%（15.8万t-CO2）減少の130.1万t-CO2となっている
- 運輸部門では軽自動車の増加、低燃費車種の普及等により33.1%（19.7万t-CO2）減少している
- 家庭部門では世帯数増加に伴う基礎的なエネルギー消費量の増加、PCやエアコンなど家電製品の世帯普及率増加により4.8%（1.9万t-CO2）増加している
- 家庭部門における電気使用に係る排出量は、東日本大震災を契機として減少傾向にあり、省エネ・節電意識の高まりがみられており、減少が続いている
- 一方で、冬期間の暖房等の灯油使用量は増加傾向にある



	第一期				第二期
	2010	2011	2012	2013	2014
計画 (t-CO2)	44,814	61,404	78,998	120,957	139,998
実績 (t-CO2)	36,376	51,578	67,021	98,592	132,230
達成率	81.2%	84.0%	84.8%	81.5%	94.5%

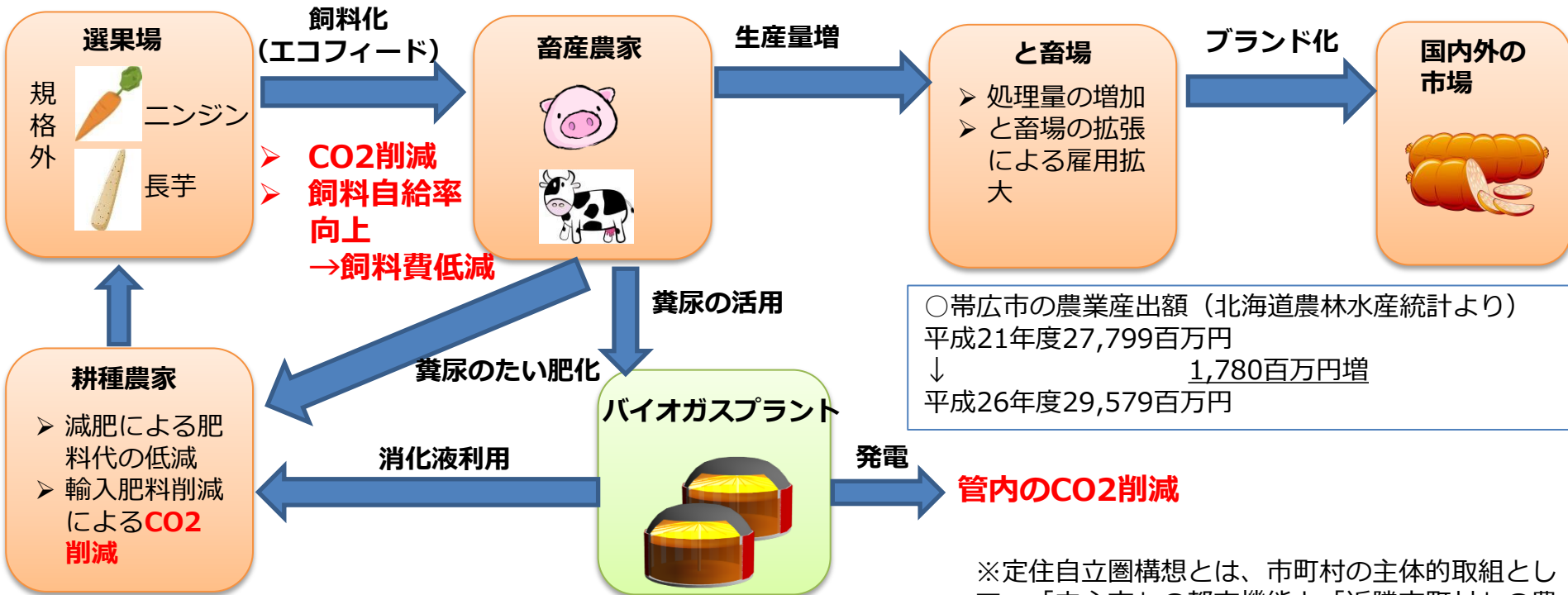
○行動計画に基づく削減量

- 第一期行動計画の削減量は、計画値に対して8割程度の達成状況であるが、着実に削減実績が伸びてきており、第二期には9割の達成状況となっている
- 防犯灯、公園照明灯のLED化の取組は、約4,500t-CO2の削減効果に加えて、夜間の安心・安全に寄与している
- 飼料自給率の向上（エコフィード）、良質たい肥の施用は、耕畜連携の更なる促進につながることに加えて、計93,052t-CO2の削減効果があった
- 一方、環境リサイクル施設の集積、自動車燃料の天然ガス化の取組は遅れている



エコフィードをはじめとした農業分野の排出削減の取組

- ✓ 耕畜連携、バイオマスの利活用を進め、農業の活性化並びに温室効果ガスの排出削減を行っています
- ✓ 平成21年度から26年度までのエコフィードの取組により74691.7t-CO2削減されました
- ✓ また、十勝管内18町村と「十勝定住自立圏構想」(※)「十勝バイオマス産業都市構想」に基づき広域連携により、バイオマスの利活用をとおして産業基盤を強化し地域経済の活性化を進めています



○帯広市の農業産出額（北海道農林水産統計より）
平成21年度27,799百万円
↓ 1,780百万円増
平成26年度29,579百万円

※定住自立圏構想とは、市町村の主体的取組として、「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の農林水産業、自然環境など、それぞれの特性を活用して、連携・協力し、地方圏への人口定住を促進する政策（総務省HPより）

スマートタウン六中プロジェクトについて

- ✓ 旧第六中学校グラウンド跡地10,033㎡を宅地造成しました
- ✓ 同地に3戸の「ゼロ・エネルギー住宅」、30戸の「環境配慮型住宅」を建築する「スマートタウン六中プロジェクト」を実施しました
- ✓ 当市の課題である家庭部門排出量の低減に加えて、市内の定住促進に寄与する取組となりました
- ✓ また、同地ではモデル展示を行い、環境配慮型住宅の市民周知につなげました

六中グラウンド跡地



宅地造成、建築
(H26~H30)

ゼロ・エネルギー住宅等



期待される効果

- 33世帯の市内定住
- 住宅の建築により約837百万円（試算）の経済効果
- スマートタウン六中全体で年間179.8t-CO2の削減効果の創出
- モデルハウス展示によるゼロ・エネルギー住宅をはじめとした環境に配慮した住宅並びに新エネルギー機器の市民周知



割り箸のペレット化（市民の自主的な取組）

- ✓ 町内会、老人クラブの有志が結成した「八の日ジャンプの会」は家庭用の使用済み割り箸を市民活動プラザ六中で回収しています
- ✓ 回収された割り箸は、帯広の森はぐく一むでペレット化され、市内小中学校や公共施設に寄付をしています

イメージ図・写真

化石燃料の代替

廃棄物の有効利用

市民活動の活発化

はぐく一む内のペレット工房に輸送

学校をはじめとした公共施設での利用

ペレット化



プラザ六中に割り箸回収ボックスの設置





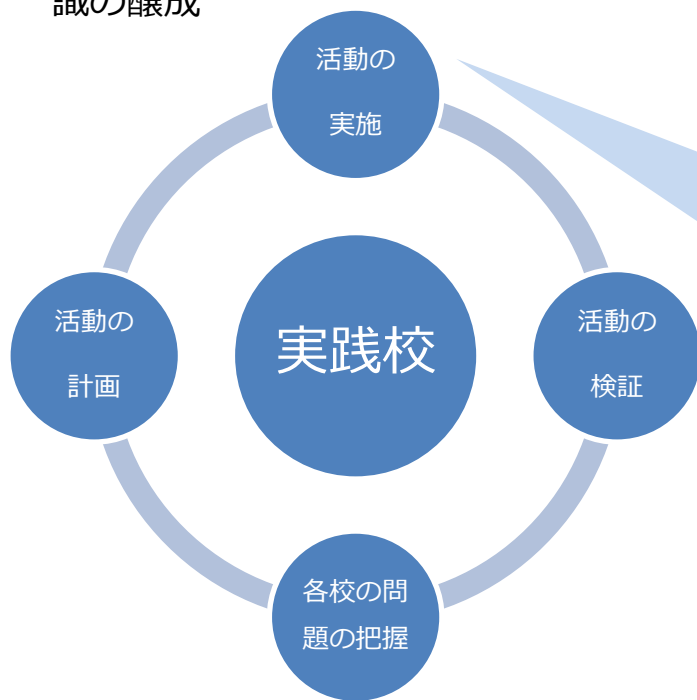
「環境にやさしい活動実践校」の取組

✓「環境にやさしい活動実践校」(※)の取組が、第2回グッドライフアワード(環境省)審査員特別賞を受賞しました。H27年度末現在小学校17校、中学校14校、高等学校1校の計32校が認定されています

イメージ図・写真

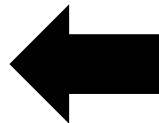
各実践校

- 児童・生徒の自主性を尊重した環境活動の実施
 - 継続した環境活動の実施
- ↓ 更に
- 卒業後も環境活動に取り組むような意識の醸成



帯広市及び教育委員会

- 各実践校の取組のフォローアップ
- 他都市への広報等



活動の一例

- 電灯の消灯
- 資源ゴミ回収
- 環境美化活動



※環境にやさしい活動実践校とは、学校でできる環境にやさしい活動の仕組みをつくり、みんなで取り組んでいる学校を、帯広市及び帯広市教育委員会が独自に認定しようというもの



省エネチラシの全戸配布

- ✓ 市民への省エネ意識の啓発を目的として省エネチラシを年1回全戸に配布しています
- ✓ その他、市民向け講演会等でも配布を行い普及啓発を実施しています



環境にやさしいまちを目指して—— **実行中**

環境モデル都市おびひろ

省エネ 省資源 **エコライフ**

みんなで取り組もう

**回収した廃てんぷら油から
バイオディーゼルの燃料
を精製**



回収した廃てんぷら油をペットボトルなどのプラスチック製（PET、PEは不可）に入れ、ガソリンスタンドやスーパーで販売している回収ボックスに入れてください。回収された油はバイオディーゼル燃料（BDF）として再生され、クリーンな燃料として使用されます。

詳しくは高岡をご覧ください

**マイバッグ持参
によるレジ袋の削減**

マイバッグの持参 レジ袋の削減



地球温暖化の防止

マイバッグの活用を!

専ら市では、これまで毎年約14,000万枚ものレジ袋を配布し、それが約700キロリットル（約700リットル）の石油を消費してきていることになります。また排出される二酸化炭素は約4,000トンに達し、これは乳牛1頭13頭分に相当します。マイバッグの活用は、地球温暖化を防止する一助となるからぜひ取り組むのびとつです。

**清掃ボランティアで
「自分たちのまちは
自分たちの手で美しく」**



グリーンキャンパス'21

市民が主体となり、NPO・グループ単位で、まちの清掃活動（ピシカさい）を行っています。市庁舎の前で実施する清掃活動には約100人参加する市民が参加しています。

エコプランズ

「エコにも、エコでも、好きと好きに」をキャッチフレーズに、個人で行う企業・近所・学校・スポーツでの活動から、企業・近所・学校・スポーツでの活動から、環境にやさしい取り組みを応援するなどのサポートをしています。

※お問い合わせは環境部環境推進課までお問い合わせください。
TEL / 0195-95-4125

「環境にやさしい活動実践校」の認定








専ら市役所市民環境部環境都市推進課



回収事業所から収集

**回収 廃てんぷら油は
どうなるの？**

廃てんぷら油が
バイオディーゼル燃料
として使われるまで

BDF精製

ガソリンスタンドへ輸送

利用

輸入

エコライフ4コマ漫画 **みんなで取り組もうエコライフ**

<p>車から自転車通勤へ</p> 	<p>南屋でできる録電</p> 	<p>グリーンカーテン</p> 	<p>リサイクルで車イス?</p> 
<p>エコライフ4コマ漫画</p> 	<p>エコライフ4コマ漫画</p> 	<p>エコライフ4コマ漫画</p> 	<p>エコライフ4コマ漫画</p> 
<p>エコライフ4コマ漫画</p> 	<p>エコライフ4コマ漫画</p> 	<p>エコライフ4コマ漫画</p> 	<p>エコライフ4コマ漫画</p> 

専ら市役所市民環境部環境都市推進課

TEL:0195-95-4198(直話) FAX:0195-23-0191 E-mail:environment@city.obihiro.hokkaido.jp



電気自動車 (EV) の導入

- ✓平成27年6月より公用車にEVを導入しました。
- ✓1台当たり月平均420km程度走行(年間約1t-CO2走行時の排出量を削減)しています
- ✓平成27年10月には(株)マテック様より2台寄附をいただき、計3台を利用しています
- ✓平成28年11月23日開催の「とかち・市民環境交流会」では、展示・試乗体験のほか、EVの電源を利用し、ポップコーンや綿あめを作るなど市民向けの啓発を行います



i-MiEV

EVの活用により走行時のCO2排出が無くなることに加えて、ガソリンから電気に変えることで年間56,000円燃料代を低減できると試算しています



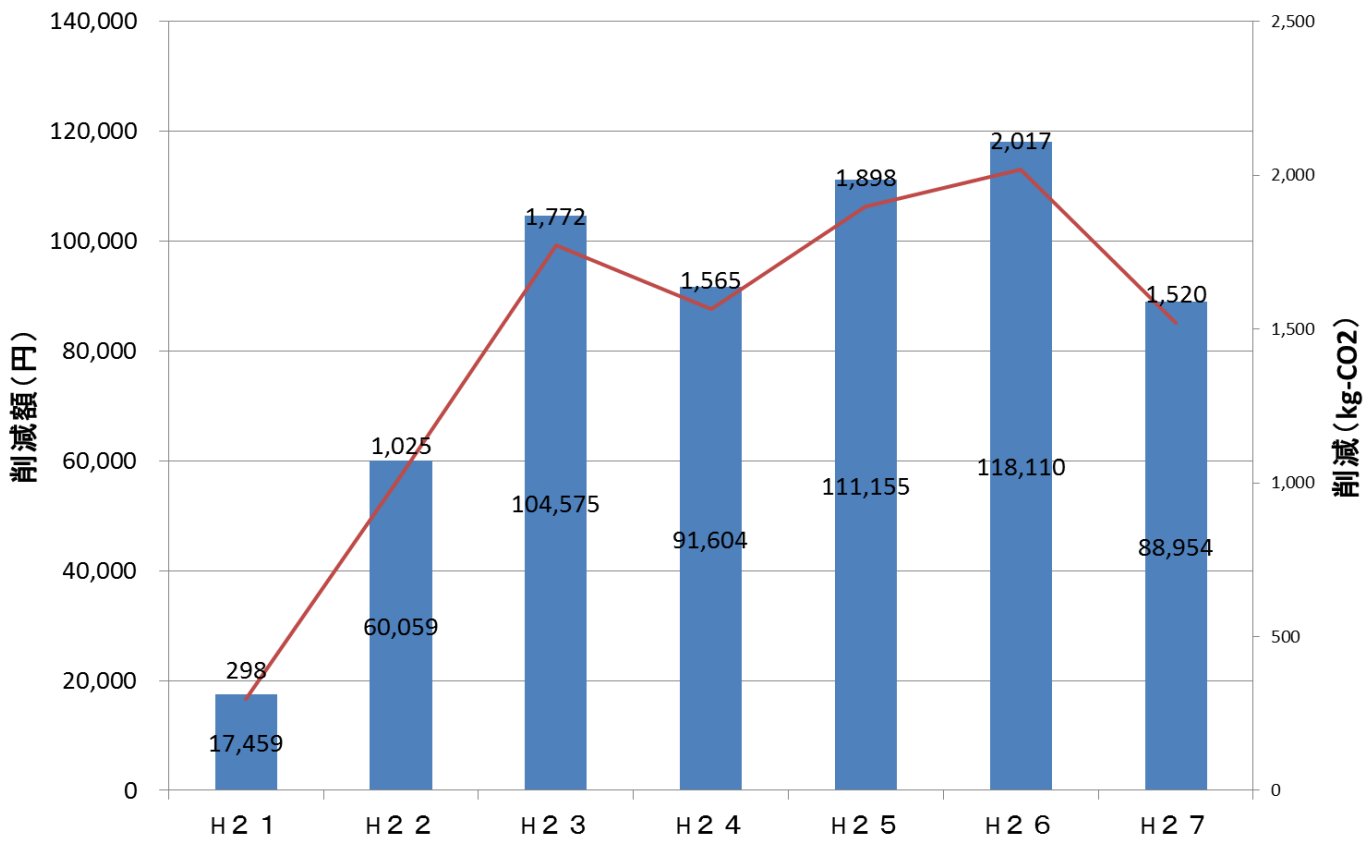
LEAF



市職員外勤時の電動自転車の利用

- ✓ 電動自転車は、共用自転車10台のうち8台導入しています
- ✓ 計10台で年間8,500km程度走行し、ガソリン使用の低減に加えてCO2削減に寄与しています

削減量(kg-CO2)、削減額(円)



**ガソリン代
計591,916円縮減**

**CO2
計10t-CO2削減**



共用自転車駐輪場の様子



グリーンカーテンの実施

✓ クールビズの取組の一環として市役所8階西側にゴーヤとアサガオを育てグリーンカーテンを行いました



プランター、種、ネットを用意するだけで簡単に実施できます。
市のHPもご覧ください。

http://www.city.obihoro.hokkaido.jp/shiminkankyoubu/kankyouka/feature_greencurtain.html



タイヤ空気圧無料点検の実施

- ✓ タイヤ空気圧が低い状態で走行していると、燃費の悪化や温室効果ガス排出量が増加してしまいます。身近で環境に優しい行動の一つとして、J A F 帯広支部、株式会社福原の協力をいただき、タイヤ空気圧無料点検を実施しました
- ✓ 3時間の実施で24台の点検を行い、その中で58%である14台が規定値よりも低い空気圧でした。その内の2台は空気圧以外の異常が発見され、自動車トラブルを回避することができました
- ✓ 家庭部門での温室効果ガス排出量削減が重要な課題となっている中、こうした身近な行動が環境保全に繋がると考えています

タイヤ空気圧点検の様子

